

富山県 新型コロナウイルス感染症対策本部事務局 総務班 広報グループ
電話 076-444-9686 (直通)
富山市 福祉保健部 福祉政策課
電話 076-443-2101 (直通)

新型コロナウイルス感染症の発生について（県内219～221例目）

県内の新型コロナウイルス感染症患者（219～221例目）について、お知らせします。

記

1 患者概要

【事例219】

- (1) 居住地 富山市
- (2) 性別 男性
- (3) 年齢 80歳代
- (4) 職業 無職（事例201の濃厚接触者・富山リハビリテーションホームデイケアを利用）
- (5) 症状 無症状
- (6) 経過 4月16日 事例201が発症
5月 1日 事例201の陽性が判明
8日 PCR検査を実施
9日 PCR検査の結果、陽性と判明
- (7) 現在の状況 指定医療機関に入院中
- (8) 対応
 - ① 行動歴の調査
 - ・旅行歴 なし
 - ・公共交通機関の利用 なし
 - ② 二次感染防止のための対応
濃厚接触者
家族 1名

【事例220】

- (1) 居住地 富山市
- (2) 性別 女性
- (3) 年齢 70歳代
- (4) 職業 無職（事例201の濃厚接触者・富山リハビリテーションホームデイケアを利用）
- (5) 症状 無症状
- (6) 経過 4月16日 事例201が発症
5月 1日 事例201の陽性が判明
8日 PCR検査を実施
9日 PCR検査の結果、陽性と判明
- (7) 現在の状況 指定医療機関に入院中

(8) 対応

① 行動歴の調査

- ・旅行歴 なし
- ・公共交通機関の利用 なし

② 二次感染防止のための対応

濃厚接触者

家族 1名

【事例221】

(1) 居住地 富山市

(2) 性別 男性

(3) 年齢 50歳代

(4) 職業 会社員（事例210の濃厚接触者）

(5) 症状 軽症（咳）

(6) 経過 4月25日 事例210が発症
5月3日 事例210の陽性が判明

8日 PCR検査を実施
咳が出現

9日 PCR検査の結果、陽性と判明

(7) 現在の状況

指定医療機関へ入院予定

(8) 対応

① 行動歴の調査

- ・旅行歴 なし
- ・公共交通機関の利用 なし
- ・公衆浴場の利用 あり

② 二次感染防止のための対応

濃厚接触者

家族 1名（陽性1名：事例210）

公衆浴場 1名

2 市民・県民の皆様へ

下記の利用日・時間に当該施設を利用した方（男性）は、帰国者・接触者相談センターへご連絡ください。

(1) 施設名称 立山鉱泉（男湯）

(2) 施設所在地 富山市中島3丁目8-33

(3) 利用日 5月7日（木）午後4時～午後5時

5月9日（土）午後5時～午後5時45分

※5月9日に施設内の消毒は終了しています。

※当該施設については、日頃より、営業中は常時窓を開放するなど換気を十分に行い、また施設内の消毒を30分ごとに実施し、感染拡大防止に努められています。

<参考>

【感染者数】（令和2年5月10日(日)9時現在）

施設別	患者・入所者 ・利用者	職員	計
富山リハビリテーションホーム	40	18	58
デイサービスめぐみ	9	—	9
富山市民病院	21	16	37
まちなか病院	—	2	2
その他			115
合計			221

【感染者の現況】（令和2年5月10日(日)9時現在）

- 入院中又は入院等調整中 108人
- 退院者数 99人
- 死亡者数 14人

（令和2年5月9日(土)17時現在とりまとめ）

- ・重症者※ 1人 ※重症者：集中治療室（ICU）等での管理又は人工呼吸器管理が必要な患者
- ・宿泊療養施設入所者数 7人

※プライバシーの保護については、十分にご配慮をお願いいたします。

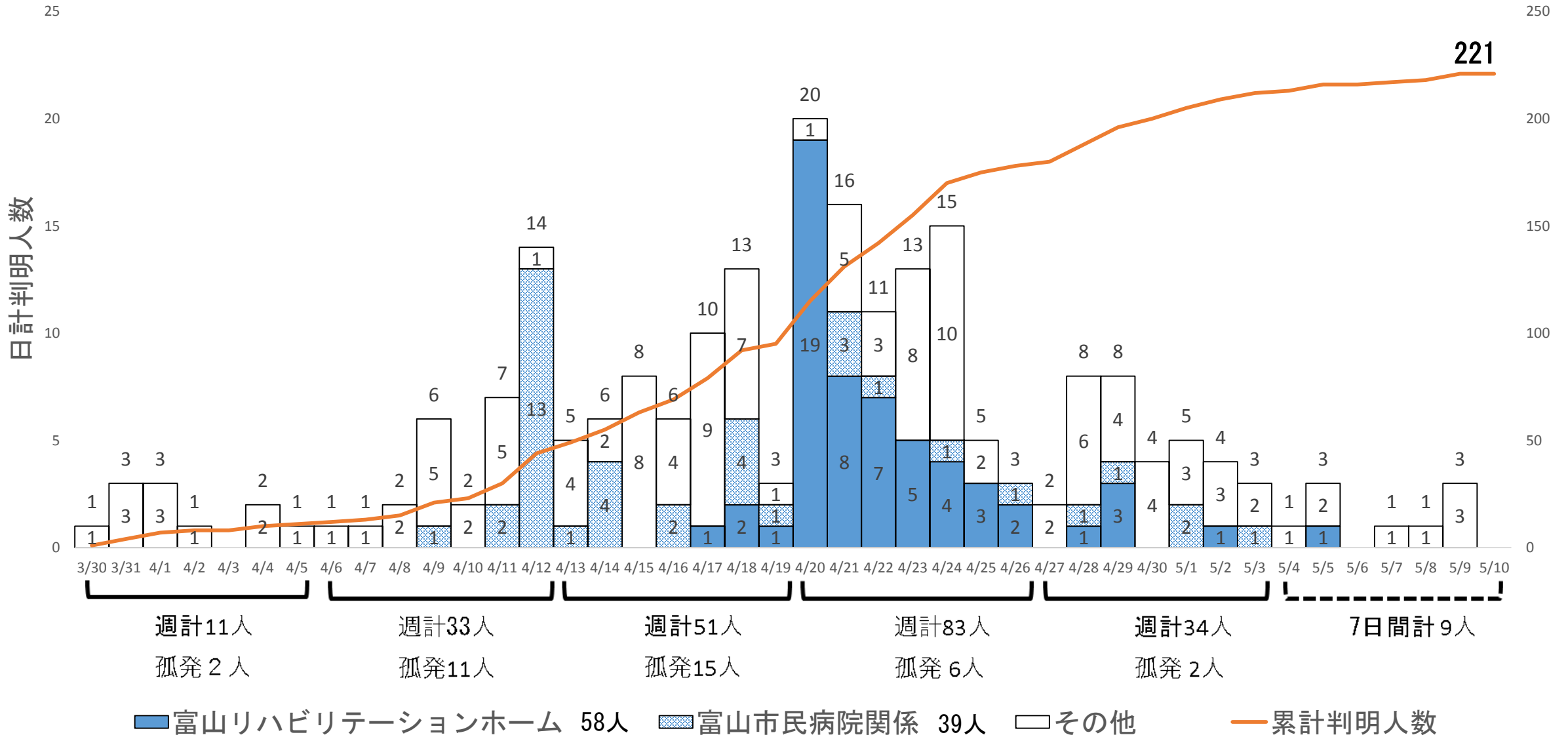
※特に（4）職業欄につきましては、その取扱いにご留意くださいますようお願いいたします。

※現場での取材は、患者の方のプライバシー保護の観点からも、お控えください。

※本件に関して、富山市保健所への直接のお問い合わせはご遠慮ください。

富山県内における新型コロナウイルスPCR陽性判明人数の推移 5月10日 9時時点

退院 99人
死亡 14人



221

週計11人
孤発2人

週計33人
孤発11人

週計51人
孤発15人

週計83人
孤発6人

週計34人
孤発2人

7日間計9人

富山リハビリテーションホーム 58人

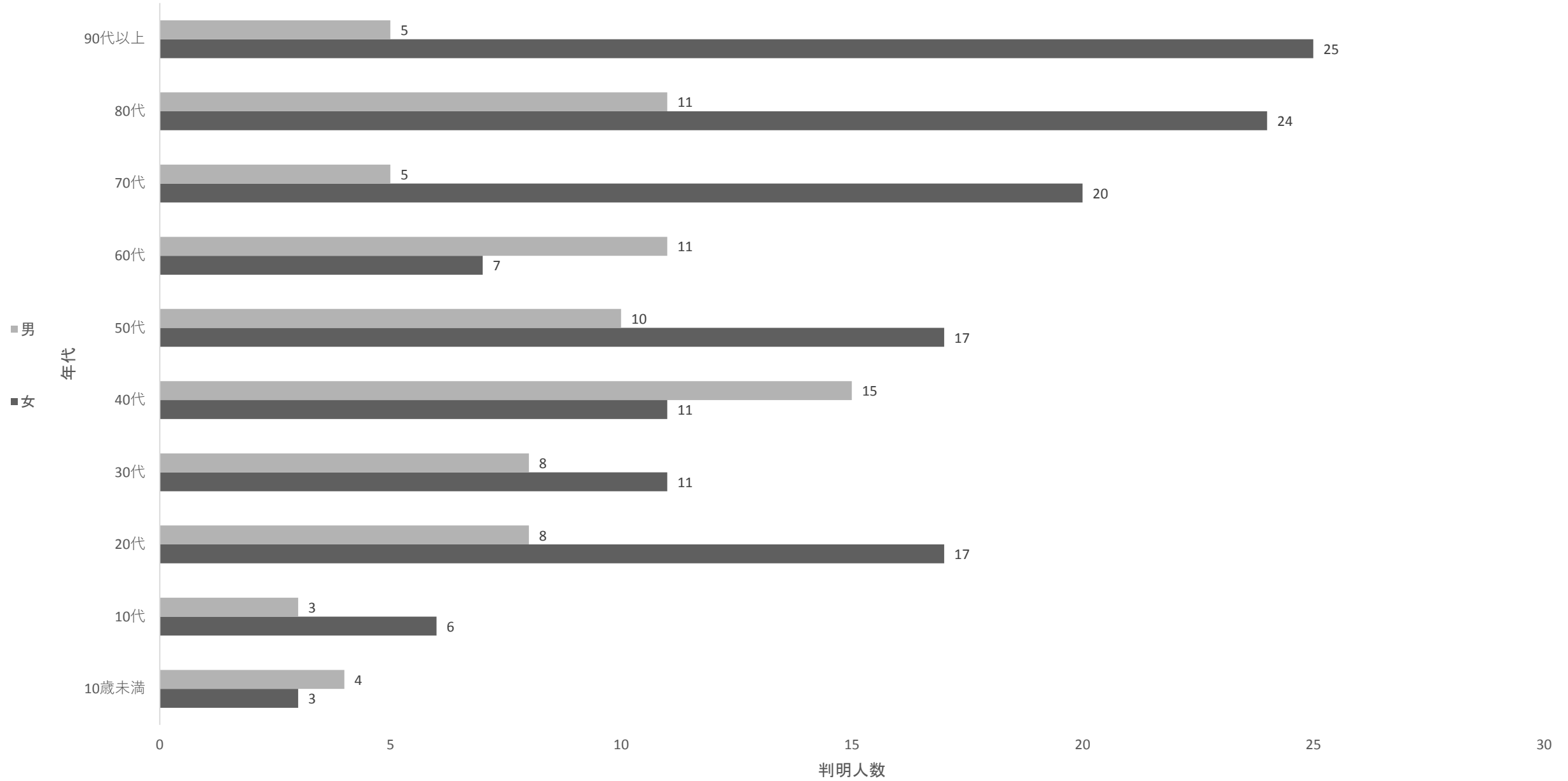
富山市民病院関係 39人

その他

累計判明人数

※孤発の人数は精査中

年代・性別の分布 (n=221) 5月10日 9時時点



ご家族に新型コロナウイルス感染が疑われる場合 家庭内でご注意いただきたいこと ～8つのポイント～

(一般社団法人日本環境感染学会とりまとめを一部改変) 令和2年3月1日版

部屋を分けましょう

- ◆ **個室にしましょう。** 食事や寝るときも別室としてください。
 - ・子どもがいる方、部屋数が少ない場合など、部屋を分けられない場合には、少なくとも2m以上の距離を保ったり、仕切りやカーテンなどを設置することをお勧めします。
 - ・寝るときは頭の位置を互い違いになるようにしましょう。
- ◆ **ご本人は極力部屋から出ないようにしましょう。**
トイレ、バスルームなど共有スペースの利用は最小限にしましょう。

感染者のお世話はできるだけ限られた方で。

- ◆ 心臓、肺、腎臓に持病のある方、糖尿病の方、免疫の低下した方、妊婦の方などが感染者のお世話をするのは避けてください。

マスクをつけましょう

- ◆ **使用したマスクは他の部屋に持ち出さないでください。**
- ◆ **マスクの表面には触れないようにしてください。** マスクを外す際には、ゴムやひもをつまんで外しましょう。
- ◆ **マスクを外した後は必ず石鹸で手を洗いましょう。**
(アルコール手指消毒剤でも可)

※マスクが汚れたときは、すぐに新しい清潔な乾燥マスクと交換。

※マスクがないときなどに咳やくしゃみをする際は、ティッシュ等で口と鼻を覆う。

こまめに手を洗いましょう

- ◆ **こまめに石鹸で手を洗いましょう、アルコール消毒をしましょう。** 洗っていない手で目や鼻、口などを触らないようにしてください。

換気をしましょう

- ◆ **定期的に換気してください。**共有スペースや他の部屋も窓を開け放しにするなど換気しましょう。

手で触れる共有部分を消毒しましょう

- ◆ **共用部分**（ドアの取っ手、ノブ、ベッド柵など）は、**薄めた市販の家庭用塩素系漂白剤で拭いた後、水拭き**しましょう。
 - ・物に付着したウイルスはしばらく生存します。
 - ・家庭用塩素系漂白剤は、主成分が次亜塩素酸ナトリウムであることを確認し、使用量の目安に従って薄めて使ってください（目安となる濃度は0.05%です（製品の濃度が6%の場合、水3Lに液を25mlです。））。
- ◆ **トイレや洗面所は、通常の家庭用洗剤ですすぎ、家庭用消毒剤でこまめに消毒**しましょう。
 - ・タオル、衣類、食器、箸・スプーンなどは、通常の洗濯や洗浄でかまいません。
 - ・感染者の使用したものを分けて洗う必要はありません。
- ◆ **洗浄前のものを共用しないようにしてください。**
 - ・特にタオルは、トイレ、洗面所、キッチンなどでは共用しないように注意しましょう。

汚れたリネン、衣服を洗濯しましょう

- ◆ **体液で汚れた衣服、リネンを取り扱う際は、手袋とマスクをつけ、一般的な家庭用洗剤で洗濯し完全に乾かしてください。**
 - ・糞便からウイルスが検出されることがあります。

ゴミは密閉して捨てましょう

- ◆ **鼻をかんだティッシュはすぐにビニール袋に入れ、室外に出すときは密閉して捨ててください。**その後は直ちに石鹸で手を洗いましょう。

- **ご本人は外出を避けて下さい。**
- **ご家族、同居されている方も熱を測るなど、健康観察をし、不要不急の外出は避け、特に咳や発熱などの症状があるときには、職場などに行かないでください。**